

ももぐみだより

12月号

早いもので今年も残すところあと一ヶ月となりました。お天気がいい日には、保育者と一対一もしくは一対二で、手をつないで靴箱まで行って自分で靴は持ってきます。あそびも砂場に行くか、滑り台に行くか、中には三輪車に興味を持ってそちらに向かって行く子もいます。自分のやることを自分で決めて、楽しみながらのびのびとやってみる。危険なことは保育者に守られ、安心してやってみる。自分で感じ考えたことを、安心できる大人に見守られながら、十分にやってみるという経験は大切だと思います。こんな風に保育ができればいいなという気持ちで日々接しています。

お外から帰ってくると、脱いだ靴は自分で仕舞います。なかには、その靴をまた手にしてお外を指さして自分の気持ちを一生懸命伝えようとしている子もいます。「また今度ね」と気持ちを切り替えてちゅうりっぷのお部屋に行って手を洗います。小さい手に石鹸の泡をのせると手のひら・手の甲・指の間をゴシゴシと洗っています。水で泡を落とすのも上手です。水を切るのは少し難しいようですがパンパンとしている子もいます。手を拭いた後、ペーパーをゴミ箱に捨てています。一つ一つの行為が丁寧にできるようまた習慣になるよう見届けていきたいと思えます。

上の青い文字の部分は、児童精神科医佐々木正美さんの『子どもへのまなざし』から引用したものです。おすすめの育児書です。機会があったら一読ください。

お願い

おしっこの量が増えて布おむつでは漏れる時があります。紙おむつを3~4枚ご用意してください。



飛行機バイバイ

